

令和5年度 事業報告

特別養護老人ホーム さくらヶ丘

短期入所生活介護事業所 さくらヶ丘

令和5年度事業報告

目 次

	ページ
北山会の基本理念	1
さくらヶ丘の基本理念・運営方針	1
1. 開所 17 周年	2
2. 稼働率	2
3. 行事	
(1) 全体行事	3
(2) ユニットの行事	4
(3) 不在者投票	4
4. 健康管理	5
5. 食事	
(1) 栄養マネジメント	6
(2) 療養食加算	6
(3) 食事形態	6
(4) 献立	6
(5) 調理レクリエーション	8
(6) 嗜好調査アンケート結果	9
6. 防災	
(1) 自衛消防訓練実施報告	10
(2) 消防法に基づく点検及び立入検査報告他	11
(3) 普通救命講習	11
(4) 非常食備蓄	11

7.	地域公益活動	
	(1) 地域清掃活動	12
	(2) ボランティアの受け入れ	12
	(3) 実習生の受け入れ	12
8.	家族懇談会の開催	12
9.	職員の育成のための研修の実施	12
10.	会議・委員会の開催	13
11.	ストレスチェック	13
12.	新型コロナウイルス感染症の対応	
	(1) 職員の管理	13
	(2) 入居者、利用者の管理	14
	(3) 感染予防対策	14
	(4) 新型コロナウイルス感染状況	14
13.	外国人の雇用	15
14.	福祉サービス第三者評価の受審	16
15.	主務管庁への届出・報告	
	(1) 事故報告書	19
	(2) 栄養関係	20
	(3) 時間外労働・休日労働に関する協定書	20
16.	行政指導	
	(1) 令和5年度集団指導	21

17. 短期入所生活介護事業所（ショートステイ）	
（1） 利用定員	22
（2） ショートステイ利用者の受け入れ区域や送迎範囲	22
（3） 平均要介護度	22
（4） 平均年齢	22
（5） 送迎回数	22
（6） 利用者負担額軽減制度の利用状況	22
（7） 生活保護受給者の利用状況	22
（8） 新規利用者数	22
（9） 空床型短期入所の利用者数	22
（10） 稼働率向上のための取り組み	22
（11） 諸行事等	22
18. 職員	
（1） 職員内訳	23
（2） 職種別内訳	23
（3） 職種別資格内訳表	24
（4） 職員の退職・採用	24
（5） 離職率	25
（6） 人員配置	25
19. さくらヶ丘管理職・指導職の役割分担表	26
20. さくらヶ丘組織図・役割分担表	28

基本理念

1. 施設の健全な環境の確保に努め、利用者様の人間性を尊重し、明るく楽しい施設運営、在宅においては利用者様が安心して生活できるように努める。
2. 社会福祉法人として社会から付託された業務を誠実に運営し、又関係法令を順守するにとどまらず、利用者本位のサービスの提供に努め、福祉の向上に寄与することを基本とする。

さくらヶ丘

基本理念

利用者様の人格を尊重し、その人らしい生活が送れるよう質の高いサービスを目指します。

運営方針

1. 利用者様が明るい家庭的な雰囲気の中で、ゆったりとした生活を送れるよう努めます。
2. 家族や地域との結びつきを重視し、開かれた施設作りに努めます。
3. 職員の知識と介護技術の向上を図り、質の高いサービスの提供に努めます。

令和 5 年度の主な取り組み

令和 5 年度は、社会福祉法人北山会の基本理念並びにさくらヶ丘の基本理念及び運営方針に基づき、次の点について重点的に事業を行いました。

1. 開所 17 周年

平成 19 年 2 月 1 日に特別養護老人ホームさくらヶ丘が開所してから、令和 6 年 2 月 1 日で 17 周年を迎えました。

特養の定員は 72 人、平均介護度は 4.2、最高年齢は 97 歳 1 ヶ月、最低年齢は 69 歳 6 ヶ月、平均年齢は 88 歳 1 ヶ月です（令和 6 年 3 月 31 日現在）。

1 年間の入退所の状況は、新規入居者 13 人（昨年度は 16 人）、退居者 15 人（昨年度は 14 人）です。

3 月末の入居者は 72 人です。

ショートステイの定員は 8 人、平均介護度は 3.6、平均年齢は 86 歳 2 ヶ月です。

面会者は、年間延べ 1189 人（前年度は 113 人）、1 日平均約 3.26 人（前年度は 0.31 人）の方が面会に来られています。令和 5 年 5 月 8 日以降、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、5 類感染症になったため、面会制限を緩和しております。そのため、前年度と比較して大幅に面会者が増加しております。

これからもご家族や地域の皆様、ボランティアとの関わりを大切にしながら、より良いサービスの提供に努めてまいります。

2. 稼働率

令和 5 年度の稼働率目標は、特養 95%、ショートステイ 90%でした。

実績は、特養 94.96%（目標に対して 0.04%減）、ショートステイ 92.52%（目標に対して 2.52%増）となりました。

年間稼働率は対前年比では、特養は 1.71%減、ショートステイは 5.47%増となりました。

	令和 5 年度（a）	令和 4 年度（b）	（a）－（b）
特 養	94.96%	96.67%	△1.71%
ショートステイ	92.52%	87.05%	5.47%

特養の稼働率低下の要因は、上半期に入院者が多く出たことの影響が考えられます。特養の年間入院空床数は、令和 5 年度が 440（前年度は 213）で前年度に比べて大幅に増加しました（前年度対比：2.07 倍）。

3. 行事

（1）全体行事

秋祭りは、新型コロナウイルスの感染拡大に警戒が必要な状況を踏まえ、健康と安全を第一に考え、前年度同様に中止とさせていただきました。

敬老会は、コロナ禍により 3 年以上開くことができなかったが、今年度は、家族を交えての「昼食会」を実施し、入居者・家族から大変喜ばれました。感染対策のため 1 家族 2 名までとし、70 名の参加があった。

開所記念会は、面会制限中のためご家族は参加できませんでしたが、感染症対策を講じたうえで、入居者と職員だけで、例年通り行いました。

行事名	実施日時	内容
敬老会	9 月 18 日（月） 12 時 00 分～ 15 時 00 分	・式典、祝寿者に感謝状 ・家族を交えての食事会 敬老祝膳メニュー（赤飯、天ぷら 3 点盛り、煮物盛り合わせ、ほうれん草のごま和え、茶碗蒸し、フルーツ盛り合わせ、花麩のすまし汁） ・ゲーム、喫茶、お茶会
秋祭り	中止	新型コロナウイルス感染防止のため中止
開所記念会	2 月 1 日（木） 12 時 00 分～ 15 時 00 分	開所記念昼食会 ・食事会 祝膳メニュー（握り寿司、茶碗蒸し、グレープゼリー、のっぺい汁） ・お楽しみ会 ・喫茶

(2) ユニットの行事

4月	お花見、誕生会
5月	端午の節句、菖蒲湯、母の日、誕生会
6月	父の日、誕生会
7月	七夕、誕生会
8月	スイカ割り、カキ氷、誕生会
9月	敬老会、誕生会
10月	運動会、ハロウィン喫茶、誕生会
11月	紅葉鑑賞、誕生会
12月	柚子湯、クリスマス会（忘年会）、誕生会
1月	新年会、新春かるた大会、誕生会
2月	開所記念会、節分（豆まき）、バレンタイン喫茶、誕生会
3月	ひな祭り、お花見散歩、ホワイトデー喫茶、誕生会

(3) 不在者投票

執行された選挙

・練馬区議会議員選挙

投票日： 令和5年4月23日（日）

不在者投票期間： 令和5年4月17日（月）～4月22日（土）

不在者投票実施日： 令和5年4月21日（金）

場所： 特別養護老人ホームさくらヶ丘 各居室

投票者数： 9人

4. 健康管理

入居者の健康状態を他職種と協働しながら正確に把握し、嘱託医には入居者の状態像を回診日の前日に情報共有し、回診に臨むようにしています。回診には必ず薬剤師が付き添うため、薬剤師のアドバイスを受けながら、適切な処方を受けられる体制をとっております。（嘱託医による定時診察の年間診察人数：988名）

また、回診日ではない日に発熱などの急変症状などがあった際は、嘱託医に電話やFAXで連絡し、指示を仰ぎ対応しました。

令和5年度の看取り件数は14件でした。新型コロナ禍でもありますが、以前のように居室で数日付き添うことを再開し、ご臨終の前に久しく会っていなかったご家族との面会を設けるなど、他部署の協力を得て取り組むことができました。

ワクチン接種は、インフルエンザ（接種人数：54名）に加え、前年度同様に新型コロナワクチンの接種が追加となり、6回目と7回目のワクチン接種を嘱託医の協力により実施しました（延べ人数：44名）。

短期入所者の受診ですが、かかりつけ医の往診が年々増加しています（年間の訪問診療数：16回）。これはご家族が多忙で在宅では往診が受けられないといった理由が考えられます。

感染対策上、外部からの往診件数は少ないにこしたことはありませんが、できるだけ他の入居者・利用者と接触することのないよう、居室のない1Fや2F交流スペースでの診察を続け、往診医と同行スタッフの手指消毒・検温・マスク着用の徹底を継続していきたいと思います。

5. 食事

(1) 栄養マネジメント

特養入居者様 72 人全てに栄養マネジメントを行いました。低リスク 25 人、中リスク 40 人、高リスク 7 人。前年度と比べて、低リスクが 10 人減少し、中リスクは 8 人増加、高リスクは 5 人増加しました。高リスク者 5 人のうち 1 人は退院後「高リスク」と判定し、残りの 4 人は、食事を 7 割以上摂取できているが、体重減少率で「高リスク」と判定しました。食事摂取量、体重減少率、BMI を基にリスクを判定しました。引き続き、多職種協働して、栄養管理を行ってまいります。

(2) 療養食加算

療養食加算（糖尿病食・心臓病食）は、7 人算定しています。現在、糖尿病食は 1,600kcal 制限と 1,400kcal 制限と 1,200kcal 制限の 3 つ、心臓病食は、塩分制限を医師の指示のもとに行っています。

糖尿病食は、1,600kcal 制限が 1 人

1,400kcal 制限が 3 人

1,200kcal 制限が 2 人

心臓病食により、塩分制限（6g 未満）が 1 人

(3) 食事形態

特養入居者の食事形態は、常食は 23 人。ご飯は 24 人。

キザミからミキサー食は、49 人。軟飯から粥ゼリーは、48 人でした。

食事形態は、前年度と同等の結果でした。

(4) 献立

今年度も美味しい、季節感のある食事を目標にし、麺類、選択メニューは、前年に引き続き週 1 回導入してきました。

前年度に引き続き、食事時の訪問を行い、喫食状況の観察、残菜状況の把握、嗜好の聞き取りなどを行い、献立に反映させるように努めました。

・行事食一覧

毎月 1 回の誕生日食の他に、季節ごとの行事に合わせた行事食を毎月提供しました。

4 月	誕生会	サンドイッチ、ビーフシチュー、えびサラダ、ぶどうゼリー
	お花見	桜ご飯、魚の磯揚げ、ほうれん草の白和え、苺、すまし汁（花魁）
5 月	誕生会	赤飯、天ぷら 3 点盛り、ほうれん草の白和え、抹茶ゼリー、豚汁
	母の日	ちらし寿司、卵豆腐の蟹あんかけ、ほうれん草のごま和え、苺ゼリー、すまし汁（とろろ昆布）
6 月	誕生会	たけのこご飯、太刀魚のねぎ塩焼き、人参サラダ、フルーツカクテル、豆乳味噌汁（里芋）
	父の日	ちらし寿司、魚の磯揚げ、揚げ茄子のそぼろあん、メロン、豚汁
7 月	誕生会	チキンマカロニグラタン、ごぼうサラダ、コーヒーゼリー、野菜スープ
	七夕	七夕そうめん、松風焼き、抹茶ババロア
	土用の丑の日	うな丼、白菜のたらこ炒り、フルーツカクテル、のっぺい汁
8 月	誕生会	ゆかりご飯、太刀魚の照り焼き、ごぼうサラダ、スイカ、すまし汁（豆腐）
	お盆	赤飯、天ぷら 3 点盛り、ほうれん草の白和え、かぼちゃババロア、のっぺい汁
9 月	誕生会	かき揚げうどん、卵の花、ゆずなます、抹茶ババロア
	敬老の日	赤飯、天ぷら 3 点盛り、煮物盛り合わせ、ほうれん草のごま和え、茶碗蒸し、フルーツ盛り合わせ、すまし汁（花魁）
	お彼岸	ご飯、ハムカツ、冬瓜と蟹のくず煮、おはぎ、味噌汁（もやし）
10 月	誕生会	栗ご飯、鶏の梅味噌焼き、冬瓜の蟹あんかけ、抹茶ババロア、すまし汁（豆腐）
	スポーツの日	炊き込みご飯、サワラのねぎ塩焼き、かぼちゃサラダ、フルーツ、味噌汁（キャベツ）
11 月	誕生会	チャーハン、水餃子、やわらか杏仁、中華スープ（豆腐）
	勤労感謝の日	赤飯、揚げ出し豆腐、ほうれん草のごま和え、カスタード和え、すまし汁（大根）
12 月	誕生会	天ぷらうどん、肉じゃが、ほうれん草の味噌マヨ和え、苺ババロア
	クリスマス	チキンソテー、ミモザサラダ、コーヒーゼリー、野菜スープ
	大晦日	年越しそば、コーンポテトサラダ、抹茶ゼリー
1 月	お正月 （1～3 日）	赤飯、おせち料理、お雑煮、かに雑炊、天ぷら、茶碗蒸し、ちらし寿司等
	七草	七草粥、魚のピカタ、スパゲティサラダ、かぼちゃババロア、豚汁

	小正月	小豆粥、牛皿、キャベツの煮浸し、キャラメルプリン、味噌汁（里芋）
2月	開所記念日	握り寿司、茶碗蒸し、グレープゼリー、のっぺい汁
	節分	大豆ご飯、鶏のねぎ塩焼き、もやし炒め、カスタード和え、味噌汁（なめこ）
	バレンタイン	ご飯、鶏の梅味噌焼き、切干大根の煮物、チョコババロア、豆乳味噌汁（サツマイモ）
3月	誕生会	チャーハン、焼き餃子、蟹入り中華サラダ、オレンジゼリー、中華スープ（豆腐）
	ひな祭り	ちらし寿司、魚の磯揚げ、茶碗蒸し、ほうれん草の白和え、ひな祭りゼリー、すまし汁（あさり）
	お彼岸	ご飯、鶏のゆず味噌焼き、車麩の煮物、おはぎ、味噌汁（里芋）

（５）調理レクリエーション

入居者様と一緒に簡単なおやつを作る調理レクリエーションを年１３回実施しました。

実施日	内容
５月２７日	やまゆりユニットでクレープを作る。
５月２８日	ひまわりユニットでプリンアラモードを作る。
６月１３日	もみじユニットでプリンアラモードを作る。
６月２５日	福寿草ユニットで和風アイスを盛り付ける。
７月３日	ぼたんユニットでお好み焼きを作る。
７月２３日	きくユニットであんみつを作る。
８月１２日	やまゆりユニットでかき氷を作る。
８月２４日	もみじユニットでかき氷を作る。
１１月１６日	ぼたんユニットでたこ焼きを作る。
１１月１８日	さくらユニットでホットケーキを作る。
１月１４日	きくユニットでお汁粉を作る。
１月２１日	もみじユニットできゃあ餅を作る。
１月２３日	さくらユニットでパフェを作る。

（６）嗜好調査アンケート結果

実施日 令和 6 年 1 月 1 日～令和 6 年 2 月 29 日

対象者 特養入居者 72 人

ショート利用者 8 人

回答者 特養入居者 71 人

ショート利用者 6 人

記入用のアンケート用紙を配布し、入居者、利用者、ユニットスタッフによる聞き取り調査で回答をお願いしました。

集計に際しては、複数回答、空欄は無回答とみなしました。

アンケート結果

食事全体	(%)
食事を楽しみ	77.9
いいえ	6.5
無回答	15.6
回答率	100

主食の量	(%)
丁度良い	57.1
多い	20.8
少ない	3.9
無回答	18.2
回答率	100

副食の量	(%)
丁度良い	66.2
多い	6.5
少ない	6.5
無回答	20.8
回答率	100

副食の味	(%)
丁度良い	68.8
濃い	3.9
薄い	3.9
無回答	23.4
回答率	100

食事を楽しみにしていると回答した人が、8.9%減少。

主食の量が丁度良いと回答した人が、1.2%増加。

副食の量が丁度良いと回答した人が、8.8%減少。

副食の味が丁度良いと回答した人が、9.1%減少。

嗜好調査を参考にしつつ、日々の入居者様とのコミュニケーションを大事にし、嗜好を聞きだしていきたいと思います。

行事食は、79.2%の方が、楽しみにしていると回答され、昨年より 7.9%減少。

全体的に、無回答が増加という結果になりました。

6. 防災

(1) 自衛消防訓練実施報告

防火対象物の名称		社会福祉法人 北山会 特別養護老人ホーム さくらヶ丘	
防火対象物の所在		東京都練馬区大泉学園町5丁目30番36号	
防火管理者職・氏名		施設長 小河 耕一郎	
問い合わせ先		電話 03-3978-1094 FAX 03-3978-1093	
	日 時	訓練内容	訓練概要
施設内 訓練 内容	令和5年4月21日(金)	総合訓練	日勤体制時1階(洗濯室)からの出火を想定した全体での訓練
	令和5年5月19日(金)	消火器・消火栓 操作訓練	消火器・消火栓操作訓練(業者の指導による操作訓練)
	令和5年6月16日(金)	総合訓練	日勤体制時2階(やまゆりキッチン)からの出火を想定した全体での訓練
	令和5年8月25日(金)	普通救命講習	施設内で石神井消防署による普通救命講習を実施
	令和5年10月20日(金)	総合訓練	日勤体制時3階(さくキッチン)からの出火を想定した全体での訓練
	令和5年10月26日(木)	自衛消防訓練	施設内で石神井消防署によるオンライン研修に参加
	令和5年12月15日(金)	夜勤体制時 総合訓練	夜勤体制時4階(ぼたんキッチン)からの出火を想定した全体での訓練
	令和6年1月19日(金)	夜勤体制時 総合訓練	夜勤体制時3階(ひまわりキッチン)からの出火を想定した全体での訓練
	令和5年2月16日(金)	大規模災害発生時 初期行動訓練	大規模災害発生時初期行動訓練実施

（２） 消防法に基づく点検及び立入検査報告他

① 消防法に基づく点検

令和 6 年 2 月 22 日 消防用設備等（特殊消防用設備等）
点検種別：機器点検・総合点検
点 検 者：赤城工業株式会社

② 石神井消防署管内事業所による自衛消防訓練

令和 5 年 10 月 26 日 施設内で石神井消防署によるオンライン研修に参加

（３） 普通救命講習

主催 ： 公益財団法人 東京防災救急協会
実施日 ： 令和 5 年 8 月 25 日（金）13:00～16:00
実施場所 ： 特別養護老人ホームさくらヶ丘 3F 交流ホール
参加人数 ： 14 名

（４） 非常食備蓄

- ・非常食：入居者 80 人、職員 30 人として、3 日分あり。

カゴメ野菜 1 日これ 1 本 ： 343 缶
スマートクッキーココア味 ： 92 個
ラーメン ： 31 食
フォー ： 100 食
ロングキープブレッド（パン）： 150 個
えいようかん ： 80 個
発芽玄米粥 ： 72 食
ほたて粥 ： 100 食
梅がゆ ： 95 食
わかめご飯 ： 50 食
五目ご飯 ： 50 食
山菜おこわ ： 50 食
ユニフーズ 玉子丼 ： 80 食
ユニフーズ カレーライス ： 80 食
ユニフーズ ハヤシライス ： 80 食

- ・飲料水：入居者 80 人、職員 20 人として、3 日分あり。

（2L×6 本）75 ケース

- ・調理水：（2L×6 本）26 ケース

7. 地域公益活動

(1) 地域清掃活動

平成 27 年度から開始した地域清掃活動は、引き続き各部所の職員が毎週 1 回集まって、施設の近隣道路の清掃活動を行いました。雨天以外毎週月曜日に実施し、合計 36 回、延参加人数 174 人（前年度は 165 人）の職員が参加しました。

令和元年度より職員の参加率を上げるため、朝礼後に行うこととし、コロナ禍の中でも継続して実施しております。

(2) ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、受け入れを中止しました。

(3) 実習生の受け入れ

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、受け入れを中止しました。

8. 家族懇談会の開催

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、開催を中止し、配布資料を郵送しました。

9. 職員の育成のための研修の実施

今年度は、コロナ禍が 4 年経過し、外部研修は、実施方法がオンラインによる Web セミナー形式と参集形式となりました（総回数：45 回 延べ人数：60 人）。

施設職員が講師となって行う内部研修は、例年通り、ユニットケア、感染症防止、褥瘡予防、看取り、個人情報保護、身体拘束廃止、事故発生防止、虐待発生防止などの研修に取り組みました（総回数：11 回 延参加人数：76 人）。

施設内でいつでも何回でも繰り返し視聴できるネット動画配信サービスを令和 3 年 3 月より取り入れ、今年度も内部研修（外部講師によるオンライン研修）で活用しました（総回数：20 回 延参加人数：72 人）。

新入職員研修は、入職後すぐに、事故発生防止、身体拘束廃止、虐待発生防止、接遇、感染症防止、看取り、ユニットケア、大規模災害等の研修を実施しました（総回数：6 回 延参加人数：10 人）。

10. 会議・委員会の開催

幹部会議（開催数：22回）、サービス担当者会議（開催数：133回）、感染症防止委員会（開催数：4回）、身体拘束廃止委員会（開催数：4回）、虐待発生防止委員会（開催数：1回）、褥瘡予防対策委員会（開催数：6回）、見守り機器活用委員会（開催数：4回）、衛生委員会（開催数：12回）、事故発生防止委員会（開催数：2回）、給食委員会（開催数：11回）、広報委員会（開催数：10回）、入所検討委員会（開催数：16回）を計画に沿って開催しました。

11. ストレスチェック

改正労働安全衛生法により、「ストレスチェックと面接指導の実施等を義務づける制度」が創設され、平成28年度から心理的な負担の程度を把握するためのストレスチェック調査を継続して実施しております。

令和5年度のストレスチェック結果は、次の通りです。

- ・受検者：53人
- ・高ストレス者：5人

12. 新型コロナウイルス感染症の対応

（1） 職員の管理

- ・令和2月28日より職員の毎日の健康チェックを実施。出勤時、退勤時には非接触型体温計で体温測定を行い、体温と症状の有無を記録表に記入
- ・アルコールでの手指消毒は、出勤時及び介助時の適宜の手洗いとアルコール消毒の徹底
- ・マスク（施設提供）は、顔に密着させた正しいつけ方で常時着用
- ・職員が発熱した場合、休ませて病院受診か抗原検査を実施。職員の同居家族が発熱した場合も、できるだけ病院受診か、抗原検査を実施する。
- ・会議での密を避けるため、開催場所を集会室から交流ホールに変更。開催回数を減らす（月2回）。
- ・職員の防護服の着用、着脱手順の研修実施
- ・休憩室で休憩ごとの換気
- ・食事時の黙食の徹底（マスクを外しておしゃべりをしない）

（２）入居者、利用者の管理

- ・新入居後、病院受診後、退院後、有症状時に一定期間個室隔離
- ・マスクの使用が可能な入居者様の適宜着用
- ・必要に応じ、食堂におけるソーシャルディスタンスの確保

（３）感染予防対策

- ・定期的な換気
- ・共用部分（ドアノブ、ベッド柵、手すり、コピー機、電子錠、スイッチ、エレベーターボタン、テーブル等）を適宜アルコール消毒。
- ・ショートステイユニットに業務用加湿器（高度清浄加湿装置）を設置
- ・全館には既にオゾン発生装置を設置してありますが、小型オゾン除菌消臭機（全国 700 台以上の救急車に搭載）を適宜使用
- ・家族の面会は、1F 面接室、月 1～2 回までの予約制
状況に応じて、入室を許可（マスク着用）
- ・面会者記帳カード（入館時に受付で記入するもの）に最近 2 週間の発熱、
風邪症状や陽性者との濃厚接触の有無、渡航歴等を申告する項目をチェック確認
- ・物資の確保
- ・施設内に入館する業者や家族等にアルコール消毒、検温、マスク着用を徹底

（４）新型コロナウイルス感染状況

令和 2 年度から令和 3 年度までは、特養の入居者とショートステイの利用者には、感染はありませんでした。令和 4 年度中に、入居者 13 名、職員 28 名（厨房の委託職員含む）が感染しました。

令和 5 年度中は、入居者 4 名、職員 20 名（厨房の委託職員含む）が感染しました。入居者で感染者が発生したユニットは、感染区画として完全に隔離し、感染拡大の防止に努めました。

13. 外国人の雇用

令和 5 年度は、介護人材の人手不足に対応するため、特定技能 1 号（特定産業分野：介護）のベトナム人を新たに 2 名採用しました。令和 2 年度から正規職員として勤務している特定技能 1 号のベトナム人を合わせると 6 名になりました。特定技能 1 号は、正規職員と同様にフルタイムで勤務が可能で、在留期間は更新して通算で上限 5 年です。

また、介護専門学校に就学しながら、非常勤として勤務し、その後専門学校を卒業後、常勤介護職員として勤務しているベトナム人が 4 名在籍しております。他に介護専門学校を卒業後、新卒の常勤介護職員として採用したベトナム人が 1 名在籍しております。

令和 6 年 3 月 31 日時点で、産休中の 1 名を含めベトナム人の職員は、11 名です。ベトナム人以外の外国人は、採用しておりません。

14. 福祉サービス第三者評価の受審

東京都から第三者評価機関として認定されている特定非営利活動法人日本ライフサポーター協会による福祉サービス第三者評価を受審しました。

契 約 日	令和 5 年 8 月 1 日
利用者調査実施日	令和 5 年 9 月 1 日
訪問調査日	令和 5 年 12 月 12 日
評価合議日	令和 6 年 1 月 20 日

全体の評価講評

特に良いと思う点

職員の入居者尊重の意識が高く、よいサービスの提供を目指すという共通目標を持っていることが感じられる施設である

施設長をはじめとし、職員の入居者尊重の意識が高い。入居者個々の価値観を尊重し、自由度が高いサービスを目指している。入居者を大切にするという意識の下で、ユニット内での話し合いが充実している。生活面では起床については目覚めを待って起こし、食事については好き嫌いを認め代替食を提供し、入浴は可能な限り個浴を勧めている。活動面では、イベントの参加は自由であり、また、新聞、雑誌の購読もできる。喫煙・飲酒も医師の許可があれば認めるなど、入居者の希望に沿った支援である。入居者は職員に見守られて自由に安心して生活している。

コロナ禍により3年以上開くことができなかった、家族を交えての「敬老の日昼食会」を実施し、入居者・家族から喜ばれた

令和5年9月に「敬老の日」を開くことができた。感染対策のため1家族2名とし70名の参加があった。8月に家族アンケートで開催の可否や意見・希望を聞き、各居室で入居者と家族と一緒に施設が用意した弁当を食べていただくことにした。この3年間で初めて居室に入った家族から「部屋が広くて明るい」「生活の様子を見ることができて安心した」という声が聞かれた。5類に移行したが感染のリスクは残っているため、開催には勇気が必要であった。それだけに、喜んでいただけたこと、開催後に感染者が発生しなかったことで職員も胸をなでおろした。

家庭的な雰囲気の中でゆったりと生活が送れるよう、個人の生活を大事にするユニット方式できめ細かなケアを行っている

入居者はユニットケアの良さが活きる家庭的な雰囲気の中でゆったりと生活している。ご飯を炊く湯気の香りで朝が始まり、目覚めたら洗顔・整髪し温かい朝食を摂っている。お風呂は職員にマンツーマンで介助してもらいながらゆったり入っている。個室で自由に過ごし、テレビを見たり、新聞を読んだり、読書や趣味に興じるなど自由な時間を過ごしている。個人の意思を尊重した介護の実践により自分のペースで生活することができている。入居者はユニットで暮らす方々と共に一人ひとりの生き方を大切にする職員のきめ細かな支援を受けて生活している。

さらなる改善が望まれる点

高齢者施設はコロナ感染症 5 類移行後も制限緩和に慎重にならざるを得ないが、リスク回避と制限緩和の均衡をとった対応策を検討して欲しい

令和 4 年 7 月の新型コロナ陽性者発生に際し、感染区画の完全隔離・家族面会中止・全職員対象の PCR 検査の毎週実施などの対応策を徹底し、短期間で収束させた。5 類移行後も、高齢者施設ではクラスターになるリスクがあるため予防策緩和は慎重に行い、面会規制は緩めたが標準的予防策を継続している。一方、世間で制限が緩和される中、今後どの程度まで制限緩和すべきか検討する必要があると施設では考えている。近隣施設の感染状況や緩和策を参考にしながら検討することとしており、リスク回避と規制緩和の均衡をとった対応策を導き出してほしい。

機器類の省エネ型への切替え、補助金の活用など様々の工夫により経費圧縮に努めている。今後も健全な財務体質を維持するよう期待したい

物価高騰の影響で光熱費や厨房の委託費、設備の修理費、人費等の経費が上昇している。施設では令和 4 年度に空調機を省エネ型に更新し、5 年度には補助金を活用しつつ厨房の冷蔵庫・冷凍庫を省エネ型に換え、年間数百万円の節減を見込んでいる。人件費については、ゆとりある就労環境を維持するため現状の人員体制は変えず、派遣社員をパート従業員に転換することにより圧縮するなど、様々な工夫を重ねている。厳しい環境下ではあるがコスト管理・補助金の活用・物品購入時の価格比較などに努め、今後も健全な財務体質を継続するよう期待したい。

入居者が地域の方々の中で安心して生活できるよう、地域との関係づくりとなる地域貢献事業への計画的な取り組みが期待される

地域公益活動として、毎週月曜日の朝礼後に施設周辺の地域清掃活動を長年にわたり行っており、令和 4 年度は 30 回、参加延べ人数 165 人で、職員による定着した活動である。ただ、計画していたボランティア、実習生、職場体験の小中学生受入れは感染症のリスクを考え見送った。令和 5 年度には近隣小学校での車イス体験授業に職員が参加している。地域の方が楽しみにしている秋祭りの開催も含め、ボランティア実習生受入れなど今後地域とどのようにつながりを持つかが課題であると施設は認識しており、計画的な取り組みが必要と思われる。

利用者調査結果

調査概要

・**調査対象**： 聞き取り可能な入居者を施設と協議し 11 名を選んだ。内訳は男性 1 名女性 10 名。80～85 歳未満 2 名、85～90 歳未満 2 名、90 歳以上 7 名。要介護度 2 が 1 名、3 が 6 名、4 が 3 名、5 が 1 名。

・**調査方法**： 聞き取り方式

聞き取りは各利用者の居室に伺い、利用者がリラックスできる状態でゆっくり時間をかけて行った。聞き取りに当たっては、質問をかみ砕いて分かりやすく丁寧に行うことを心掛けた。コロナウイルス感染防止を図るため評価者はマスクを着用し、居室の換気も充分していただいた。

利用者総数： 72 人

共通評価項目による調査対象者数： 71 人

共通評価項目による調査の有効回答者数： 11 人

利用者総数に対する回答者割合（％）： 15.3％

調査結果全体のコメント

施設への総合的な評価は、11 名中「大変満足」が 6 名、「満足」が 5 名で、「どちらともいえない」「不満」「大変不満」はなかった。11 名全員が「大変満足」「満足」で、100％が満足という評価であった。

項目別では、11 名全員が「はい」と答えた項目は 14 問中 8 問あった。それは、問 2「必要な介助」、問 5「清掃・整理整頓」、問 6「職員の接遇・態度」、問 7「けが・体調不良への対応」、問 8「利用者同士のトラブルへの対応」、問 9「気持ちを尊重した対応」、問 10「プライバシー」、そして、問 13「不満・要望への対応」で、たいへんよい評価であった。次いで評価が高かったのは、問 4「体調への気遣い」で、10 名が「はい」と答え、「いいえ」の回答はなかった。

「いいえ」の回答が多かったのは、問 11「個別計画作成時の要望の聞き取り」、問 12「サービス内容・計画に関する職員説明」、問 14「第三者に相談できることの説明」の 3 項目のみであった。

以上のとおり、個別の質問項目においても満足度が高いことがうかがわれた。

15. 主務管庁への届出・報告

(1) 事故報告書

提出先：練馬区 大泉総合福祉事務所

- 99 歳 女性 右上腕骨頸部骨折
発生日時 令和 5 年 4 月 18 日 23 時 10 分頃
第一報報告日 令和 5 年 4 月 22 日
最終報告日 令和 5 年 6 月 9 日

- 91 歳 女性 右大腿骨転子部骨折
発生日時 令和 5 年 5 月 8 日 6 時頃
第一報報告日 令和 5 年 5 月 12 日
最終報告日 令和 5 年 6 月 6 日

- 90 歳 女性 左大腿骨頸部骨折
発生日時 令和 5 年 5 月 8 日 18 時 37 分
第一報報告日 令和 5 年 5 月 20 日
最終報告日 令和 5 年 6 月 6 日

- 84 歳 女性 恥骨骨折
発生日時 令和 5 年 6 月 29 日 18 時 20 分
第一報報告日 令和 5 年 7 月 2 日
最終報告日 令和 5 年 7 月 30 日

- 94 歳 女性 急性硬膜下血腫
発生日時 令和 5 年 7 月 25 日 23 時 15 分
第一報報告日 令和 5 年 7 月 30 日
最終報告日 令和 5 年 9 月 24 日

- 90 歳 女性 右大腿骨頸部骨折
発生日時 令和 5 年 7 月 27 日 10 時 10 分
第一報報告日 令和 5 年 7 月 30 日
最終報告日 令和 5 年 8 月 13 日

- 95 歳 女性 左大腿骨頸部骨折
発生日時 令和 5 年 9 月 28 日 3 時 5 分

第一報報告日 令和 5 年 9 月 29 日
最終報告日 令和 5 年 10 月 27 日

- 92 歳 男性 右大腿骨頸部骨折
発生日時 令和 5 年 10 月 18 日 5 時 15 分
第一報報告日 令和 5 年 10 月 20 日
最終報告日 令和 5 年 11 月 21 日
- SS87 歳 男性 第 4 腰椎圧迫骨折
発生日時 令和 5 年 10 月 23 日 12 時 15 分
第一報報告日 令和 5 年 10 月 27 日
最終報告日 令和 5 年 11 月 26 日
- 96 歳 女性 左大腿骨頸部骨折
発生日時 令和 5 年 12 月 23 日 7 時 00 分
第一報報告日 令和 5 年 12 月 27 日
最終報告日 令和 6 年 1 月 22 日
- 86 歳 女性 右大腿骨頸部骨折
発生日時 令和 5 年 12 月 25 日 6 時 20 分
第 1 報報告日 令和 5 年 12 月 28 日
最終報告日 令和 6 年 1 月 19 日
- 92 歳 女性 右大腿骨頸部骨折
発生日時 令和 6 年 3 月 24 日 16 時 02 分
第 1 報報告日 令和 6 年 3 月 28 日

(2) 栄養関係

①栄養管理報告書

提出先：練馬区健康部 健康推進課栄養食育係

令和 5 年 5 月分、11 月分

提出日：令和 5 年 6 月 8 日（木）、令和 5 年 12 月 5 日（火）

②給食施設状況報告書

提出先：練馬区健康部 健康推進課栄養食育係

提出日：令和 6 年 3 月 6 日（水）

（３）時間外労働・休日労働に関する協定書

- 提出先：池袋労働基準監督署
提出日：令和５年５月２５日（金）
- 提出先：池袋労働基準監督署
提出日：令和６年３月２７日（水）

16. 行政指導

（１）令和５年度集団指導

- 受講日時　：令和６年２月７日　１１時００分～１７時００分
 ：令和６年２月１０日　１６時００分～１７時００分
主催 ：東京都福祉保健局
対象事業所： 指定介護老人福祉施設
実施方法　 ：インターネットで配信する動画視聴
- 受講日時　：令和６年２月１３日　１４時００分～１５時００分
主催 ：東京都福祉保健局
対象事業所： 短期入所生活介護
実施方法　 ：インターネットで配信する動画視聴

17. 短期入所生活介護事業所（ショートステイ）

（１）利用定員

- ・短期入所生活介護事業所（ショートステイ）利用定員：８人
- ・特別養護老人ホームさくらヶ丘の空床利用定員：３人

（２）ショートステイ利用者の受け入れ区域や送迎範囲

- ・練馬区全域（練馬区周辺の市区町村からの受け入れはなし）

（３）平均要介護度

- ・平均：3.6（男：3.3 女：3.7）

（４）平均年齢

- ・平均：86歳２ヶ月（男：85歳１０ヶ月 女：86歳４ヶ月）

（５）送迎回数

- ・合計 661 回（迎え 331 回 送り 330 回）

（６）利用者負担額軽減制度の利用状況

- ・合計延べ利用者人数：20 人

（７）生活保護受給者の利用状況

- ・合計延べ利用者人数：12 人

（８）新規利用者数

- ・合計人数：26 人

（９）空床型短期入所の利用者数

- ・合計人数：23 人

（１０）稼働率向上のための取り組み

- ・ホームページの更新
- ・営業活動、統計資料の作成、情報収集

（１１）諸行事等

諸行事等は、特養と同じ内容で実施しました。

18. 職員

(1) 職員内訳

令和6年3月31日現在

	全 体 (人)		男 性 (人)	女 性 (人)
合 計	77	(100%)	23 (29.9%)	54 (70.1%)
正 規 職 員	33	(62.3%)	14	19
契 約 職 員	0	(0%)	0	0
非 常 勤 職 員	0	(35.1%)	3	21
派 遣 職 員	2	(2.6%)	1	1

(2) 職種別内訳 (※カッコ書きは、常勤換算人数)

	全 体			男 性	女 性
合計 (延べ人数)	77		77 人	23 人	54 人
合計 (常勤換算)	(64.77)		(64.77)	(21.7)	(43.07)
施 設 長	1	正 規	1	1	0
看 護 職 員	6 (5.39)	正 規	5	1	4
		非常勤	1 (0.71)	0	1 (0.71)
		派 遣	0	0	0
介 護 職 員	56 (47.43)	正 規	33	14	19
		契 約	0	0	0
		非常勤	21 (12.80)	3 (2.07)	18 (10.73)
		派 遣	2 (1.63)	1 (0.95)	1 (0.68)
看護・介護職員の合計	62 (52.82)		62 (52.82)	19 (17.7)	43 (35.12)
介護支援専門員兼 生活相談員	3	正 規	3	0	3
		非常勤	0	0	0
管 理 栄 養 士	1	正 規	1	0	1
機能訓練指導員	1	正 規	1	0	1
事 務	5 (4.17)	正 規	4	2	2
		非常勤	1 (0.17)	0	1 (0.17)
宿 直	1 (1.0)	非常勤	1 (1.0)	1 (1.0)	0
清 掃	3 (0.78)	非常勤	3 (0.78)	0	3 (0.78)

(3) 職種別資格内訳表

令和6年3月31日現在

職 種	資 格	人数 (人)	実人員数 (人)
生活相談員	社会福祉士	1	3
	介護支援専門員	3	
介護職員	介護福祉士	33	56
	実務者研修修了	4	
	ヘルパー1 級	1	
	初任者研修 (ヘルパ - 2 級)	14	
	認知症介護基礎研修	4	
看護職員	看護師	2	6
	准看護師	4	
栄養士	管理栄養士	1	1
機能訓練指導員	あん摩マッサージ指圧師	1	1
その他		10	10
合計			77

※生活相談員は、介護支援専門員を兼務

(4) 職員の退職・採用

職員の退職及び採用状況は次の通りです。

職 種	雇用形態別	退 職 (人)	採 用 (人)
合計		10	10
介護職員	正規	2	5
	契約	0	0
	非常勤	4	2
	小計	6	7
看護職員	正規	1	2
	契約	0	0
	非常勤	1	0
	小計	2	2
生活相談員兼 介護支援専門員	正規	0	0
	非常勤	0	0
事務職員	常勤	0	0
	非常勤	0	1
清掃員	非常勤	2	1

(5) 離職率

年度初めの令和5年4月1日時点で、全職員数は76人（育休1名含む）でした。そのうち10人が退職し、10人を採用し、令和6年3月31日現在の派遣を除く職員数は77人（育休1名含む）でした。

職員の離職率は、13%でした（令和4年度の離職率は19%）。

(6) 人員配置

国が定める「特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準」において、介護職員及び看護職員の総数は、常勤換算方法で、入所者の数が3又はその端数を増すごとに1以上とすることと定められております（職員1人当たりの利用者数3人）。

当施設の場合、必要とされる介護職員及び看護職員の人員数は、27人です。当施設の令和6年3月31日現在の介護職員及び看護職員の総数は、常勤換算方法では52.82人で、国の配置基準の1.95倍の人員を配置しています（職員1人当たりの利用者数1.51人）。

20. さくらヶ丘管理職・指導職の役割分担表

令和 6 年 3 月 31 日現在

施設長	小河耕一郎	◆施設運営の総括 ◆事務総括 - 総務管理・人事管理・経理管理
事務長	井崎昌孝	◆事務全般の管理 - 総務管理・人事管理・経理管理 ◆職員全般の管理・監督・指導 ◆看護職員の指揮、命令、勤怠、育成 ◆人事考課（看護職員の一次評価、生活相談室職員、事務室職員、ユニットリーダーの二次評価） ◆マーケティング・営業 ◆研修 ◆地域公益活動
事務次長	大久保直樹	◆事務全般の管理 - 総務管理・経理管理・文書管理 ◆事務室職員の管理・監督・指導 ◆事務室職員の指揮、命令、勤怠、育成 ◆勤務シフト表の作成 ◆人事考課（事務室職員の一次評価） ◆他部門との連絡、調整 ◆研修 ◆地域公益活動
生活相談員 主任	三好直美	◆生活相談室職員の指揮、命令、勤怠、育成 ◆勤務シフト表の作成 ◆人事考課（生活相談室職員の一次評価） ◆入居者・ショートステイの利用者の介護、生活支援に関すること ◆入居者・ショートステイの利用者家族からの介護、生活支援に関する相談 ◆他部門との連絡、調整 ◆研修 ◆地域公益活動
管理栄養士 主任	齊木香織	◆栄養管理、厨房施設設備消耗品管理、備蓄品管理、入所者食数管理、栄養マネジメント、栄養指導 ◆食に関する帳票関係の作成、保健所との連絡調整 ◆委託業者への指導・窓口業務（献立・調理、作業管理、衛生管理） ◆給食委員会開催 ◆研修 ◆地域公益活動

介護課長	鈴木義明	◆全フロア全般の管理・監督・指導 ◆ユニットリーダーの指揮、命令、勤怠、育成 ◆人事考課（介護職員の二次評価、ユニットリーダーの一次評価） ◆ユニット間の連絡、勤務シフト調整 ◆委員会の開催・研修 ◆イベント（行事）の企画・実施 ◆地域公益活動
ユニット リーダー	2 階 平田剛幸 橋村彩 神場美由紀	◆ユニット全般の管理・監督・指導 ◆介護職員の指揮、命令、勤怠、育成 ◆ユニットの勤務シフト表の作成・勤務シフト調整 ◆人事考課（介護職員の一次評価） ◆新入職員の指導・育成 ◆ユニット会議の開催、内部研修の開催、文書管理 ◆イベント（行事）の企画・実施 ◆地域公益活動
	3 階 塩崎直美 阿萬菜緒美 鈴木溪太	
	4 階 大竹めぐみ 仲澤一馬	

21. さくらヶ丘組織図・役割分担表

令和6年3月31日現在

